

# 日本マスターズ柔道

ホームページ <http://jmja.jp/>

2015年1月31日  
JMJA-News 第14号  
日本マスターズ柔道協会

〒275-0026  
千葉県習志野市谷津7-2-909  
小林潔司方  
電話 090-3232-1769  
FAX 050-3730-0846  
e-mail [info@jmja.jp](mailto:info@jmja.jp)  
発行 会長 清家春夫

## 2014年日本ベテランズ国際柔道大会 (第11回日本マスターズ柔道大会) 開会式挨拶



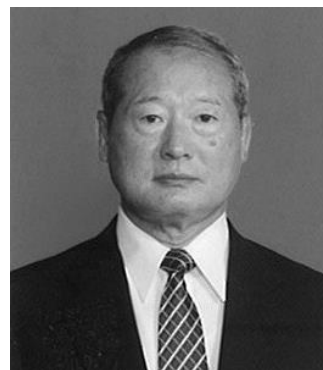
1 新体制の確立と会則の見直し、改定  
1月1日付で会長が交代、副会長、専務理事

○平成26年の活動状況  
1 新体制の確立と会則の見直し、改定

当協会の目的を実現するため、昨年の活動状況等と本年の活動計画、課題等について申し述べます。

親善を図るとともに、青少年の健全育成に寄与することにあります。

13年の歴史と伝統を築いてきました。目的は、生涯柔道を目標とするマスターズ柔道の普及・振興、会員の心身の発展と友好



日本マスターズ柔道協会 会長 清家 春夫

## 年頭のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。  
ご家族共々、清々しい気持ちで新春を迎えられたことをお慶び申し上げます。  
昨年は、清水正敬二代目会長の後を受け、年初に三代目の会長に就任、さらに副会長、専務理事等新役員も選出され、新体制の執行部がスタートしました。  
当協会は、発足以来今日まで

等新役員を選任し、新体制を確立しました。

当協会の組織拡大と流動的な情勢変化に即応するため、最高議決機関を総会から代表理事会に変更、また、運営に関する企画・立案等は、会長、副会長、専務理事、事務局長、名誉会長等で構成される執行部会が行う等12年ぶりに会則を見直し、改定を行いました。

2 全国柔道高段者大会の出場と総会・懇親会の開催

4月28日の全国柔道高段者大会に258人の当協会所属の選手が出場し、熱戦を展開しました。八段の部に出場した会員は、30人中10人で33%を占め、生涯柔道を実践する姿勢が注目されました。

午後3時半から学士会館で総会を開催、今年度の事業計画・事業予算、新役員、会則の改定等代表理事会の決定事項を報告、承認されました。

その後、全国各地から参加した68人の会員による懇親会が開かれ、交流を図りました。

3 夏季柔道研修会(勝浦合宿)の実施

8月30日(土)31日(日)の2日間、千葉県勝浦市の日本武道

館研修センターにおいて、当協会丸の内柔道倶楽部、大木塾、横浜土曜柔道会等の有志38人による合同の夏季柔道研修会(勝浦合宿)を実施、寝技、乱取り、形講習(形の演武)等の稽古を行い、技術の向上と相互の交流を図りました。

研修会には、女性、小学5年生の参加もあり、会員との乱取り指導稽古など充実した有意義なものになりました。

夜の懇親会は、屋外でのバーベキューに勝浦の鮮魚店に注文したカツオの刺身を加え、楽しく飲食しながら親睦を深めました。

4 2014年日本ベテランズ国際柔道大会(第11回日本マスターズ柔道大会)の開催

9月20日、9月21日の2日間講道館において標記の大会が開催され、30歳以上の男女692人(内、海外からの参加者27人)の選手により試合(個人、団体)及び形競技が行われ、その技が競われました。

本大会は、昨年の大会に次いでJF/全柔連との共同開催になり、講道館での2度目の大会となりました。

選手出場に伴う受付業務、プログラム作成等の事前準備の多くを当協会が担当しました。審

<p>判員・審査員の手配、競技運営等は、すべて全柔連が担い、計量も大会前日に変更したこともあり、2日間の競技は円滑に進行し、大会運営は良好で、成功裡に終了することができました。</p> <p>本大会の特徴、注目点等は、</p> <p>① 会初参加の選手が183人、全体の28%を占め、新しい参加者が著しく増加した</p> <p>② 個人戦に出場した70代は39人、80代は8人で、元気に怪我もなく生涯柔道を実践していた。中でも、最高齢の89歳で試合に出場した美濃岡清三郎（兵庫県）の姿に多くの選手が感動した</p> <p>③ 古式の形競技に、大矢秀明（85）・竹安晃照（82）選手が出場し、立派な形を演技した</p> <p>④ 700人に近い選手が出場したにもかかわらず、救急車を要請するような受傷事故は1件もなかった</p> <p>⑤ 昨年の大会には、外国人選手が17か国62人出場したが、本大会は、同時期にスペインで開催される第6回国際ベテランズ柔道大会と重なり、9か国26人と少なかった</p> <p>⑥ 各選手が礼法を重んじ、しっかりと組み堂々と戦い一本を取る試合が多く、見応えがあった</p> <p>⑦ 国際の新ルールによる「腰か</p>	<p>ら下の攻撃・防衛の禁止」で反則を取られ、反則負けをする試合が目立った</p> <p>⑧ 開会式の中で、日本マスターズ柔道協会の表彰として、80歳代の出場者に贈られる「マスターズ功労賞」受賞者10人、「5回出場者表彰」25人、「10回出場者表彰」28人に対し記念品が贈呈されました。また、今大会から永年にわたり当協会の発展、マスターズ柔道の普及・振興等に顕著な功績を挙げた会員に贈られる「マスターズ特別功労賞」（記念品）を新設、野口宏水名誉会長（初代会長）が最初の受賞者になるなどです。</p> <p>当協会主催の懇親会は、9月20日午後7時から学士会館で開催、外国人を含む各選手、全柔連・当協会の役員、関係者等約140人が参加しました。</p> <p>懇親会は、日本舞踊、民謡などが披露されたほか、東京五輪音頭による盆踊りに外国人選手も加わり、文化交流を楽しみながら友好親善を図り大変盛り上がりしました。</p> <p>5 第6回ベテラン国際柔道大会への参加</p> <p>9月25日スペインのマラガで開催されたIJF主催の第6回ベテラン国際柔道大会に、ツアーを組み</p>	<p>12名が参加しました。個人の参加として会員が3人、合計15人が試合に出場しました。</p> <p>日本の大会が9月21日に終了、翌々日の9月23日にスペインへ出国、という強行軍のような日程のため参加者が少なかつたように思います。</p> <p>試合の結果は、金メダル3個、銀メダル3個、銅メダル5個で合計11個のメダルという成績でした。出場した各選手は、しっかりと組んで堂々と戦い、素晴らしい試合をしていました。</p> <p>大会に参加して印象に残ったことは、</p> <p>① 試合のみで、形、団体戦が無く以前の世界マスターズ柔道大会に比べると大会の魅力が少ない</p> <p>② 大会前日の計量受付時間、大会当日の試合開始時間等日程が不確実</p> <p>で、変更なども多く運営面で不満を感じる選手が多く見られた</p> <p>③ 参加費が150ユーロ、他の大会に比べて高すぎるように感じた（プログラム等もなく入賞のメダルは、安っぽく、魅力に欠ける）</p> <p>④ 栗本忠弘八段は、病氣療養中の体で2試合を戦い、気迫あふれる闘志で2戦2勝した試合ぶりに感動し、強い精神力に圧</p>	<p>倒された</p> <p>⑤ 審判員は1人制で、各試合場にビデオを設置、活用していたが、角度によつて見えない部分があり問題点があるように感じた</p> <p>⑥ 「腰から下への攻撃・防衛の禁止」で反則負けになる試合が多く見られた。捨て身小内刈、帯の下に触れたくらいのもので反則負けになり、審判の判断が厳しいように思われたなどです。</p> <p>6 ホームページに充実等による広報活動の強化</p> <p>ホームページ上で「メールマガジン」の登録を受付、登録された会員には柔道大会等の案内、参加手続き、会報発行のお知らせなど各種の関連情報を提供しています。また、ホームページを通じて各行事・諸活動の紹介、会員の募集、会員の活躍ぶり等を掲載し、広報活動を強化しています。</p> <p>日本マスターズ柔道12年の歴史と試合結果、活動状況等を報告する「会報」は、第1号（2005年9月発行）から第13号（2013年1月発行）までホームページに掲載されていますので、参考にしてください。</p> <p>7 二金会の活動状況</p>	<p>毎月第二金曜日の午後5時から同6時までの間、講道館の大道場で会員の合同稽古を行い、終了後懇親会を開催しています。</p> <p>参加者は、毎回約25人で、乱取り、寝技、形の稽古等を行い、懇親会では、意見交換を活発にしながら、交流と親睦を深めています。時には、外国人も稽古に参加し、懇親会に招待して国際交流と友好親善を図っています。</p> <p>○ 平成27年の活動計画と当面の課題</p> <p>1 平成27年度の活動計画 当会の目的を実現するため、</p> <p>① 1月中旬に第14号の会報を発行し、2015年日本ベテランズ国際柔道大会への参加呼びかけ、マスターズ柔道の普及・振興に活用する</p> <p>② 日本マスターズ柔道協会12年間の歩み、大会記録、活動状況等を記録する記念誌を制作、発行し活用する</p> <p>③ 全日本柔道高段者大会への積極的参加と総会・懇親会を同日開催する</p> <p>④ 二金会の充実と参加者を増やすための対策を推進する</p> <p>・稽古時間を午後5時から同6時から午後6時から同7時に変</p>
--	--	---	--	--

更し、若い世代の参加者を増やす  
・40代、50代の参加者を増やすため対策を進め、後進を育てる

⑤ 夏季の柔道研修会(勝浦合宿)の開催

丸の内柔道倶楽部、大木塾、土曜会等他団体との合同研修会を目標に昨年と同じく勝浦の日本武道館研修センターで1泊2日の合宿を行う

⑥ 内外の柔道団体との合同稽古、受身、形の指導等を通じての交流と青少年の健全育成に貢献する



第6回 IJF ベテラン国際柔道大会  
(スペイン・マラガ)

⑦ 2015年日本ベテランズ国際柔道大会(第12回日本マスターズ柔道大会)開催に向けての諸準備、参加呼びかけの強化  
9月19日(土)、20日(日)の2日間、佐賀県嬉野市で開催され

る標記の大会に向けての諸準備を関係団体と連携しながら推進、できるだけ多くの参加者を確保し盛り上げる

⑧ 第7回国際ベテラン柔道大会への参加

開催日時、開催地など大会の概要は、現時点で未定であるが、決定すれば参加については前向きに検討していく

⑨ ホームページ等の充実と積極的な活用等について、活動計画をつくり、実行していきたいと考えています。

2 当面の課題

今日、超高齢化と少子化が進む中で、柔道人口と登録人数を増やしていくためにはマスターズ柔道の普及・振興が喫緊の課題だと思います。

マスターズ柔道のメンバーは、自ら柔道の稽古に励み、試合に出場するだけでなく、各道場や柔道クラブ等で青少年に柔道指導している人が多く柔道人口の拡大に貢献しています。また競技中心でなく、健康維持と人間形成を目的に正しい柔道を実践している人も少なくありません。

マスターズ柔道を普及・振興するために、二金会など平素の地道な合同稽古を通じて会員相互の絆を強めながら、その魅力

を発信し、新しい会員を増やしていくことが必要です。

同時に、各種大会の参加者を多くしていくための諸対策として、以下の課題を解決する努力が求められると思います。

○ 女子の参加者を増やすための対策を検討する

○ 日本ベテランズ柔道大会は、五段以下の者について、「講道館昇段資格に関する内規」により、昇段に必要な評価得点になる認定された大会である、ことを周知徹底する

○ 大会運営の基本を「参加する選手のためのものであり、選手に配慮した運営を行う」として、公平で効率的な大会運営に心掛ける

○ 大会期間中に、国際交流に配意した懇親会を開催し、外国人選手との友好親善を図る

○ 個人試合のほか、7種目の競技、1チーム5人の団体戦等日本での大会の魅力を発信し、外国人選手の参加を増やす。

○ 大会プログラムの作成、配布及び魅力あるメダルの授与

○ 大会の結果報告、表彰時の写真等をホームページに掲載する日本マスターズ柔道大会は、回を重ねて「礼節を重んじ立派な態度で正しく組んでやる柔道」

が定着しつつあります。勝つてよし、負けてよし、真剣に試合をする姿が見る人に感動を与えているようです。

佐賀県嬉野市での大会は、参加者が多く、充実した有意義なものになるようにご支援ご協力をお願いいたします。

## 新年のご挨拶

日本マスターズ柔道協会 名誉会長 野口 宏水

新年明けましておめでとうございます。

皆様には 本年もお揃いで佳き新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。お陰さまで私共本年も無事新年を迎える事ができました。

昨年四月には 一九八二年来出場してありました講道館全国高段者大会三〇回表彰を受章先輩友人大勢の方々のお名前を刻した立派なトロフィーを戴きました。また十一月には 日本マスターズ協会創設十周年を記念して日本マスターズ特別功労賞の栄にも浴しました。

本年は 郷里佐賀県嬉野市柔道協会により九月十九日(二十

今年も柔道着を着て、楽しい汗を流しながら生涯柔道を続け、大いに奮闘されることを期待するとともに、ご家族共々、健康に留意され、充実した良き年となりますようご祈念いたします。



JMJA 創立特別功労賞を胸に

日第十二回日本マスターズ大会(国際ベテランズ大会)が開催されることになっており いわば、故郷に錦を飾る”ようで嬉しく思えてなりません。これ偏に 皆様のお陰さま と心より感謝申し上げます。

本年も 皆様には佳きお年でありますようとお祈り申し上げます。

ますと共に相変わらずのご交誼をお願い申し上げます。

二〇一五年 元旦

以上 一昨年々昨年の本会報に次いで 本年も年賀状にて新年のご挨拶をご紹介させて頂きました。一昨年々昨年共にガンとの決戦く延長戦の様相を呈しておりましたが 本年は柔道く生涯柔道との成果でありますし真に有難く この喜びは最高のものであります。曰く「長い間柔道を学んで良かった！」に尽きるものであります。更にこの喜びは 本年九月に続くものであります。繰り返し「柔道を学んでいて本当に良かった！」

と。

只 茲で残念極まりないこと；それは 柔道：稽古も試合をも：二度とできないことであります。講道館高段者大会では三〇回の戦績は二〇勝〇敗一〇引き分け更に 一九九九年より世界マスターズ大会に参加して 国境 人種 宗教 言語：を越えて世界の熟年柔道愛好家と試合場の内外で交流 大会では十二回参加して十回金メダル 二回銀メダルで いずれも小生にはこの上ない喜びの成果にも拘らずであります。



30回出場表彰 上村館長より授与

一九九九年の第一回カナダウエランド大会以来加えて創設日本マスターズ第一回静岡浜北大大会以降 いつも往時の最年長者であられた第一回真砂都留夫(東京)M一 第二回真砂都留夫M11上

島 彬M11(大分)宮崎隆夫M11(神奈川)：長老マスターズよりもズット長生きして世界：日本大会共に最年長になるまで参加したいと自身望んでいたものであります。その夢も今は残念ながら空しく消えてしまいました。嗚呼！

茲で ガンの先輩として マスターズ諸兄姉 年齢を問わずご進言いたします。今 小生 退院後近くの成城リハビリセンターに週一回通っておりますが、そこへの通院者の殆どは日本人の三大死因Ⅱガン 脳卒中 心臓病によるものであり その原因は 酒&・ORタバコの愛好者でありまして 永年の生活習慣を変える事は殆ど不可能ではあります。我が人生 仕事と柔道と酒なり！と豪語して止まなかった小生が必然的にガンに罹患したこと証人として 少なくとも若いマスターズ諸兄姉には出来れば量をお控えなされることをご忠告いたしますのであります。

最後に是非嬉野大会へのご参加をお願いいたします。去る一〇月 郷里佐賀にて高校同期傘寿の会があつて参加 その折今回の大会を嬉野温泉へと全柔連・JFに誘致された嬉野市柔道協会(会長Ⅱ深村 勉様)を訪ね



30回出場表彰受賞祝賀会

イス遠征の折 村議会議長だった兄と村役場職員と小生三人で訪問 翌年B町長と脊振村長で姉妹都市提携調印。従つて 来年度の嬉野国際ヴェテランズ大会に若しフランスから来るようなことがあつたら郷里の脊振山のジャッピー遭難記念碑へ案内したいと思つています。その折は「弥生人の声が聞こえる吉野ケ里遺跡」へツアーを組みますので歓迎いたします。では SEE YOU IN URESHINO!

て参りました。お陰さまで郷里佐賀出身の創立初代会長ということで大変温かくお迎え戴き大会会場をご案内して戴きました。嬉野は何と申しまして日本三大温泉の一つとして有名であります。更に小生といたしましては、三六フランスよりAジャッピー飛行士が朝日新聞主催パリく東京一〇〇時間懸賞飛行でフランスより飛んで来て最後の寄港地香港く東京への直前 小生の故郷脊振山(1055m)のエアポケットで墜落遭難の処を脊振村民が救出 脊振村郵便局長(八谷源吾氏Ⅱ小生の伯父)が当時最初の国際電話で連絡して帰還させた。そのJ飛行士のボーケール町を、九五丸の内柔道クラブのドイツ オーストリアス



フランス ボーケールにて



## 2015年 新春のお慶び申し上げます

日本マスターズ柔道協会 名誉会長 清水 正敬

日本マスターズ柔道協会の昨年度の活動報告並びに今年度の予定等報告致します。日本マスターズ大会も回を重ね11回となりました。当初国体開催県に於いて、翌年に県柔連にお願いして行つてまいりました。昨年・一昨年の10・11回大会は全柔連との共催で講道館開催ができたことは多くの会員の喜びでした。

日本マスターズ柔道の行事でも、う一つの大きな楽しみはIJF主催、国際ベテランズ柔道大会に参加し外人との戦いと、そして観光も大きな魅力です。昨年の日本マスターズ大会は、11回大会として前年に続き東京・講道館に於いて9月20日(土)21日(日)参加者 679名で盛大に行われました。会員の皆様は再度大会プログラムをご覧ください。(31P参照)今や日本は世界のトップで高齢化が進んでおり65歳以上人口が25%を超す状況にあります。元気で生涯現役でいることは医療費節減の面でも大きな社会貢献です。毎年のことながら高齢者のこの大会で、一番気になる事が事故・怪我ですが、幸

いにも2年続けて共に0と大変喜ばしい事でした。(大会終了2週間後1件怪我の保険請求がありました。)IJF主催第6回国際ベテランズ柔道大会は、日本マスターズ大会終了3日後の25日・26日・27日、スペイン・マラガで行われ、マスターズ会員1260名の参加者とのこと、毎度のことながらプログラム・パンフレット等の情報は無く、TVモニターでの確認でした。会場であるスペイン・マラガは高級リゾート地で数日前、世界形大会を行った立派な会場で、運営面でも従来になくスムーズに行われ良かったです。

今年度の日本マスターズ大会は第12回日本マスターズ柔道大会兼IJF主催、日本ベテランズ国際柔道大会として佐賀県・嬉野市で9月19日(土)・20日(日)開催されます。嬉野市は毎夏女子トップ選手の柔道強化合宿を行っている場所です。このマスターズ大会も是非にと谷口市長様始め職員の皆様、嬉野市柔道協会深村会長、皆さん何度もマス

ターズ大会を視察に来られ、全柔連・細川先生からもご推薦戴いている場所です。本来の順番は長崎県ですが、佐賀・嬉野市とは隣県ということをお願いいたしました。

IJF主催第7回ベテランズ国際柔道大会は何時か?とIJF・HPを調べましたら、フランスで4月19日からとありました。この会報が届くころには具体的スケジュールが解かると思います。

皆様も元旦に誓ったことでしょう。今年も良い年になるようにと、同時に柔道Ⅱ今年のマスターズ頑張るぞと。私は今迄周りの仲間に「勝・負」に拘わらず試合

を楽しむと言って試合に誘ってきた。昨年、日本マスターズでの2敗に続き3日後のIJFスペイン・マラガでのロシア人に逆転負けと、大学卒業後の50年で実業団・高段者大会等多くの試合でも余り負けが無かったのにと無念の年でした。この年まで頑張っているって立派だよと慰め、言い訳する自分がいました。70歳を超えたここ数年の冬場、喉・鼻・耳と調子が悪く耳鼻咽喉科に通うことが多く耳から来るバランス感覚の衰えによる体捌きの悪さの影響もあるかなーと思っています。今年度こそ身体の衰えを受け入れつつ柔道でも良い年にするぞと、これを書きながら強く思っています。今年もご指導、ご支援宜しくお願いします。

最後になりましたが、マスターズ大会の今後の課題は女子選手参加者増を目指し、参加費等検討中ですが、良い御提案がありましたら宜しくお願い致します。皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう祈願しております。

新年明けましておめでとうございます。専務理事を引き受けて一年、清家会長の下、小林事務局長や玉田・田倉両事務局次長に助けられながら、「日本ベテランズ国際柔道大会(第11回日本マスターズ柔道大会)」を盛会のうちに開催することができました。会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

本年は、IJF主催、本協会協力の形式をとって、初めて地方(嬉野市)で大会を開催します。講道館で開催した大会とは、違って、審判や審査員の問題、参加者の交通費増と参加者数減等が懸念されますが、反面、九州、四国、中国地方の柔道家にとって、本大会に参加する絶好の機会だと思えます。是非、誘い合



第6回 IJF ベテラン国際柔道大会  
(スペイン・マラガ)



## 新年号 挨拶

専務理事 三橋 英夫



監事 役田英穂

## 周回遅れの「生涯柔道」

せて参加してもらいたいと思います。また、本協会が誕生して12年余、今までの協会の歴史を記録する「10周年記念誌」の発行を企画し、その準備を進めております。野口宏水（初代）・清水正敬（第二代）両名誉会長はじめ多くの先輩達が今日の土台を築いてくれた足跡を、この記念誌に収めると共に、月例稽古の「二金会」等を通じて、年々認知度が上がってきた当協会の基盤をさらに整備し、生涯柔道を目指す会員の力を十二分に発揮できるように場を作っていきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年七十二歳になりますが、生涯柔道を目指している一人です。ですが、二十年前まで四国・徳島に長く勤務していたこともあり、周りの皆さんからは随分遅れての挑戦です。「生涯柔道」に共感したのは丸の内柔道倶楽部に入会してからですが、この時既に五十八歳、現役選手を引退して二十三年経っていました。翌年から競技者として全国高段者大会などに出場するようになりましたが、五段昇段の四十二歳から出場していたと仮定すると、実に十七周遅れのスタートです。ほどなく日本マスターズ柔道協会が設立され、多くの先生方からこちらの大会出場も誘われました。ですが当時は本社勤務や大阪赴任が続いたため、しばらく大会参加を見送っていました。満六十七歳で定年退職した後、生涯柔道の幅が広がりました。醍醐先生の「古式の形」の勉強会などの他、マスターズ大会にも第八回千葉大会から出場するようになりました。その後は連続して出場していますが、初回からの出場者に比べますと、何と七周遅れのスタートであります。そして昨年からは監事を仰せつかることとなりました。遅れた年数は取り戻せませんが、これからは二金会や合宿など、参加の頻度・

密度で少しずつ遅れを挽回しつつ、生涯柔道を実践しようと思っています。御指導のほど、どうぞよろしくお願い致します。

## 日本マスターズ柔道大会の全柔連/JFとの共同開催について

事務局長 小林潔司



年に一度の当協会の最大イベントである日本マスターズ柔道大会は、平成25年9月の第10回大会より、全柔連/JFのベテランズ（日本マスターズ柔道大会として、共同開催されているが、それを契機に大きくプラスになっている点を、以下の共同大会を通して考察した。無差別級は、JFベテランズ大会要項と整合のため、H25を以て廃止されたが、先達の長年にわたる努力の数々と共同開催が

奏功して、毎回国内の初参加者は30%前後に至っており、着実に新規会員の参入の息吹が感じられる。昨年はスペインのマラガでの世界ベテランズ大会と開催時期が重なったため、海外選手の参加が減少したが、大旨全体の流れは増大の方向にある。（海外からの参加者は、全柔連が

日本マスターズ柔道大会の出場選手の推移

(H26 11 10 作成)

		個人戦						団体戦		形	延出 場選 手数	実出 場選 手数
		体重別		無差別		海外						
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子			
H23	第8回千葉大会	338	11	138	2	6	1	92	6	128	722	409
H24	第9回山口大会	356	11	157	2	6	0	95	6	84	717	412
H25	第10回東京大会 (AJJF/IJF共同開催)	541	25			60	5	207	19	108	965	744
H26	11回東京大会 (AJJF/IJF共同開催)	513	24			27		187	18	100	869	692

- その窓口であるが、昨年（H26）は、日本在留外国人の男女5名が、当協会の扱いで参加した。
- (1) 当協会員の全柔連登録の完全協力による、全柔連との連携機関であることの連帯感の共有
  - (2) 形競技における、全柔連公認審査員の審査による、審査基準の導入 ↓ 演技レベルの向上
  - (3) 個人戦における、全柔連公認審判員によるJF審判規定の完全実施 ↓ トラブルの防止
  - (4) 個人戦において、対戦相手がいなく試合組合せが不能となった場合、年齢・体重区分を超えての統合の導入（JF基準）による試合の完全実施 ↓ 表彰（メダル授与）基準の明確化
  - (5) 全柔連への競技運営の委託による、円滑運営 ↓ 試合組合せ・表彰・結果記録の公表
  - (6) 大会試合成績の講道館段位（五段以下）の昇段審議の対象として認知
  - (7) JF/全柔連の国際マスターズ（ベテランズ）大会として、全世界JF加盟国へ参加募集を発信
  - (8) 全柔連の広報活動による、国内マスターズ柔道家への試合参加への啓蒙・啓発
- （全柔連HP、全日本選手権、福岡体重別選手権、全日本女子選手権大会等のプログラム広告掲載）

(9) 全柔連による、政府機関の後援要請(厚労省、外務省、文科省) ↓ 大会の認知・権威化  
(10) 全柔連のベテランズ柔道大会事業として理事会・評議員会の認知 ↓ 地方開催の協力要請

以上

## 新春のご挨拶

事務局次長

兵庫県 玉田 誠



私と日本マスターズ柔道協会さんとの出会いは第3回岡山大会からです。

第1回静岡大会、第2回埼玉大会で入賞された同じ連盟の先生方から「来年は(隣接の)岡山大会だから出てみたら?」とお聞きしました。

第3回岡山大会へ投の形で出場しようとしていた矢先にパートナ

ーの久米祝久さんが交通事故で亡くなりました。翌年、地元の第4回兵庫大会ではその意思を引き継いでくれた荒牟田一さんと出場し入賞することができました。

大会へ出場することは勝敗や順位という結果だけでなく、私が所属する道場の坂井館長、三木副館長をはじめ、同じ連盟の先生方と開催地へ出向く楽しみや、他府県の選手たちとの交流があります。第3回以降、年に一度の刺激を求めて第9回山口大会まで毎年エントリーさせていただきました。

高段者ではない私にとって、講道館で試合ができる絶好の機会であったこの2年間は、残念ながら仕事の都合で出場することができませんでした。各地での大会へ出向くことと同様に、またいつか講道館の畳の上で試合ができる機会を楽しみに、継続して稽古を続けていきたいと思っています。

## 歓迎あいさつ

佐賀県嬉野市長

谷口 太一郎



このたび、2015年日本ベテランズ国際柔道大会(第12回日本マスターズ柔道大会)が、平成27年9月19日(土)、20日(日)の2日間にわたり嬉野市で開催される運びとなりました。歴史ある大会が、当市で開催されることは、大いなる誇りであると感じております。

嬉野市は、九州の佐賀県南西部に位置し、緑豊かな山々に囲まれ、お茶、温泉、焼物など観光資源に恵まれた人口約28,000人のまちです。地域柔道も盛んであり、嬉野市柔道協会を中心に日常的に小学生から大人まで幅広く活動が行われ、生涯スポーツとして地域スポーツの向上や健康増進はもとより、青少年の健全育成が図られています。

近年は、スポーツを通じたまちづくりを推進しており、4年連続となる柔道女子日本代表などトップアスリートの合宿の受け入れを行っております。また、女子野球ワールドカップに出場されたオランダ代表チームの事前キャンプを受け入れるなど、海外のスポーツ選手の受け入れにも力を入れております。

嬉野市での国際大会開催は初めてですが、これまで培った経験を生かし関係各位のご指導をいただきながら、参加される皆様の心に残るような大会にしたいと考えております。本大会は、国内外の柔道愛好者が参加され、大会の成績のみにとらわれずお互いの友好・親睦を深めることも目的とされているとお聞きしております。大会終了後には「日本三大美肌の湯」として名高い嬉野温泉に浸かっていただき、疲れた体と心を癒していただければ幸いです。大会の開催を機に地域活性化や国際化がより一層推進されることはもとより、参加者の皆様に嬉野市の魅力を感じていただき、大会を満喫していただくことを願っております。

終わりに、本大会が嬉野市で開催されるにあたり、多大なるご尽力をいただきました日本マス

ターズ柔道協会をはじめ、関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。また、柔道家の皆様におかれましては、九州の地方都市での大会開催ではありますが、ご家族の皆様も含め多くのご参加を市民一同心よりお待ちしております。



事務局便り

# 速報！ 2015 日本ベテランズ国際柔道大会 (第12回日本マスターズ柔道大会)

主催: 国際柔道連盟(IJF) / 主管: 公益財団法人 全日本柔道連盟  
後援: 厚生労働省・文部科学省・外務省・佐賀県・嬉野市・(公財)日本武道館  
協力: 日本マスターズ柔道協会・佐賀県柔道協会・嬉野市柔道協会

期間: 平成27年9月19日(土)～20日(日)

会場: 佐賀県嬉野市体育館

種目: 形競技・男女団体戦 9月19日(土) / 男女個人戦 9月20日(日)

(個人戦出場者は、試合前日の計量(9月19日 15:00～18:00)を必ず受けること)

申込開始日予定: 平成27年5月1日 / 申込締切り日: 平成27年6月30日

※ 大会要項は4月中旬に当協会ホームページ <http://jmja.jp/> にて発表予定

申込先: 日本マスターズ柔道協会事務局 <http://jmja.jp/> / Fax: 050-3730-0846

問合せ先: e-mail: [info@jmja.jp](mailto:info@jmja.jp) Tel: 090-3232-1769

●年会費(登録費)納入のお願い  
従来と違って本年より、年初に会費の払込みのお願いを申し上げる理由として、会計年度が1

月(12月)であり、会費は会報の発行・大会運営費・事務局経費等、当協会事業の原資となっておりますので、年の始めに払込頂けると大変有難く存じます。  
日本マスターズ柔道大会の申込時に登録費(年会費)として払込で頂いておりますが、大会に出場されない方でも、同一に年会費の払込は必要となります。  
皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

●日本マスターズ柔道協会平成27年総会のご案内  
本年の総会は、毎年、4月28日に講道館で開催される全国柔道

高段者大会当日の午後3時半より、講道館より地下鉄2駅の至近の場に位置する神田錦町の学生会館  
(Tel: 03-3292-5936)で開催されます(会費5000円)。

総会の後、懇親会もありますので、全国より高段者大会に参加された会員同士のさらに熱い柔道の絆が結ばれます。マスターズ柔道の最新情報が得られますので、是非とも奮ってご参加下さい。

## 第6回 IJF ベテラン

### 国際柔道大会 結果

\*場所: ス페인(マラガ)

\*日程: 9月25(木)～27(土)

1 森本 唯行

M 11 M 10に統合

2 栗本 忠弘 81kg 銀

M 10 90kg 金

3 清水 正敬 90kg 銀

M 9 90kg 銀

4 内藤 純 73kg 銀

M 9 73kg 銀

5 鬼柳 一字 60kg 銅

M 9 60kg 銅

6 清家 春夫 81kg 金

M 9 81kg 金

7 西久保 博信 73kg 銅

M 9 73kg 銅

8 山田 次光 81kg 銅

M 8 81kg 銅

9 来田 武 73kg 金

M 8 73kg 金

10 井田 幹夫 66kg 金

M 8 66kg 金

11 久宮 登美夫 73kg 金

M 8 73kg 金

12 上木 保男 81kg 金

M 7 81kg 金

13 大塚 俊彦 90kg 金

M 7 90kg 金

14 加藤 彰一 81kg 金

M 6 81kg 金

## 第6回ベテラン国際柔道大会

### (スペイン・マラガ)参戦記

鬼柳 一字(岩手県)



私は今大会で二つの経験をしました。一つ目は主審が「一本」を宣告し勝名乗りを受けた後、ビデオ判定により「反則負け」となった事です。

二つ目は試合中に負傷し「棄権負け」となり、救急車で異国の病院に搬送された事です。先ず一つ目の反則負けですが、背負い投げから小内刈りに変化し、相手は勢いよく背中を打ち私がその上に重なり落ちたもので、柔道の論理からは完全な「一本」となる筈です。私も国際審判規定で脚攻撃は反則となる事は承知済みで脚は取っていません(筈です)。然しビデオを確認したところ、技の流れの中では全く脚に触れていなかったが、最後に相手の上に重なり落ちた瞬間に手が触れていました。私自身は一修



行者であり、審判規定を論議する立場にないので本件に関しては報告のみとさせて頂きます。

二つ目の負傷による救急搬送につきましては、同行した皆様方にはご心配、ご迷惑をお掛けしました事に改めてお礼とお詫びを申し上げます。

この時の対戦相手は会場に告示された組合せ表には無い選手でした。私は公示された全試合を終了し、日本人のいる観客席に戻る途中で急遽呼び出され、再度試合場に立つ事になりました。

明らかに試合後の解放感で心身に隙が生じていたものと考えます。武道においてもビジネスにおいても、現役を貫くにはそれなりの覚悟が必要と考えます。

私は年が明ければ75歳、いよいよ階級はM10になります。ケガもほゞ治り来年に向けての練習を開始したところです。

また経営者としても第一線に立たざるを得ない状況に有ります。我国製造業の急速な海外移行により、海外生産拠点の拡大は待った無しです。グローバル戦略展開には若手人材投入は不可欠であり、縮小する国内市場での生き残り戦略は創業者が対応せざるを得ないのが現実です。日本人男子として平均寿命が

尽きるまで残5年となりました。マスターズ柔道には、80歳を超えて尚試合場に立ち続ける先輩がおります。その後ろ姿を追ひ更なる精進を続ける覚悟です。

# 「六七歳の再チャレンジ」

(栃木)久宮登三夫



スペイン、マラカ到着、今年も世界大会に来たか？海がきれいなスペインのリゾート都市に到着しました。でも、体重が気になり景色を楽しむ余裕はほとんどなかった。しかし翌日、早々に計量をパスし、海辺のレストランで早速食事、というより計量パスの祝杯で一息、やつとリゾート地ということに納得、しばし海辺の景色を楽しみました。大会の方は、決勝まで順調に

勝ち進みましたが、決勝では、延長戦のゴールデンスコアーとなり辛うじてメダルを取ることができました。

六十歳から参加させていただいた日本でのマスターズ柔道大会から今では、世界大会へも参加するようになり、自分自身の健康管理と日本はもとより世界の柔道愛好家の方々と親しく接していただけることはすごいことであると思つています。もし、マスターズに参加していなかったら！！！！目標もなく日々を過ごす高齢者になつていたことでしょう。

マラカでの決勝の相手は、フランス人でした。彼がフランスに帰国後、所属する道場で日本人のSCGCに負けてウイナーになれなかった！来年はSCGCに勝つて優勝したいと言つていたということを同じ道場の日系企業に勤める日本人の熊谷先生からメールが届きました。フランスに来た時にはぜひ道場にも来てくださいと招待のメッセージと合わせたものでした。

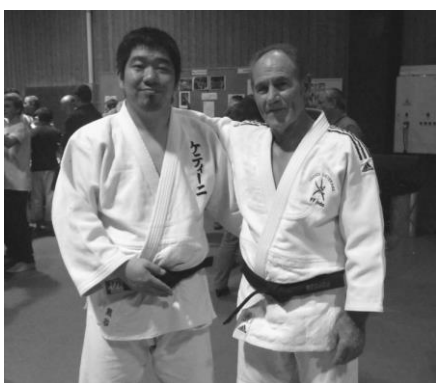
こんな出逢いもマスターズに参加して得ることができた宝物であると思つています。

今年の全国大会は、九州(佐賀)・世界大会は、オランダだそうですが是非参加できるよう健

康管理と稽古に精進したいと思ひます。

大会に参加し試合に臨むことと皆さんにお会いできることを毎年の目標にし、ゆつくりしたい！のんびりしたい！という怠け癖が少しでも少なくなつてくれればと今年も頑張つていきたいと思つています。

今年も世界大会M8・3連覇に向けて六七歳のチャレンジをしたいと思ひますのでご指導くださるようよろしくお願い致します。そしてマスターズの皆さん、長老にならず現役をいつまでも続けられるよう頑張りましょう！動きましよう！稽古しましょう！



写真は、フランスの柔道クラブで稽古に励んでいる熊谷先生とジエラーさん(決勝戦の相手)です。

# 「スペイン・ペランズ国際大会に参加して」

神奈川 井田幹夫



日本ベテランズ国際柔道大会の銅メダルの勢いを持つて、世界大会に臨んだが、その勢いも虚しくメダルには手が届かなかった。その悔しさは来年と、気持ちを入れ替えて観光を楽しむことにした。マラガで計量・登録終了後に快晴のもと、海辺のレストランでのワインや食事に魅了され、これがスペインなのかと一人納得したのであった。

試合を終えてバルセロナに行くと、あちこちのビルのペランダに本物の赤のストライプのカタロニア州のはたが取り付けてある光景に出合った。自治意識の高い町だなと思つた。そういえば、バルセロナはジョージ・オウエルの「カタロニア賛歌」で知られたスペイン市民戦争(1936〜1939)で、フランコ軍に制圧され、多くの人々が殺害された人民政府の都市だっ

た。そしてカタロニア語は使用禁止となった。スペインは南欧気質というか人も陽気かつ情熱的で、しかも気候も温暖で快適な国だ。訪れる観光客は世界第3位、年間の千万人で実に日本の6倍である。しかしその歴史の裏側には、州や市・町・村の人々が敵味方に分かれて殺戮を展開した、悲惨な歴史を持つ国なのだ。だから戦後になって国民があるわだかまりを捨てなければ、戦後はスタートでできなかったのではないだろうか。今も市民戦争の話はタブーであるらしい。今カタロニアではスペインからの独立・分離の話が出ているとのこと。同じ大戦を経験した日本ではこんな悲惨なこととはなかった。確か同じ南欧のイタリアも、同様の戦争体験を持つていたと記憶するが、果たしてそれは人々の気質や風土から由来するのだろうか。そんなことを考えながら実りある旅行を終えた。

## 「第6回ベテランズ国際柔道大会

### 参戦記

神奈川 西久保博信

●第6回国際ベテランズ柔道大会



2014年日本ベテランズ国際柔道大会兼第11回日本マスターズ柔道大会を9月20日(土)21日(日)に終えたばかりの日本マスターズ柔道協会から13名の選手と応援団の名計19名のツアーは、9月23日08:30分成田空港第二ターミナルに集合、東京(成田)発JAL413便でヘルシンキへ、約5時間のフライト後フィンランド航空735便でスペインマラガへ、マラガ着23時55分専用車で深夜ホテルに落ち着き、長い一日がやっと終わった。

●9月24日、出場登録・計量日前夜遅かったので熟睡、モーニングコール前に目覚める、白夜の季節は午前7時半頃まで薄暗い、朝食前にホテルから道路を隔てたメートル先の海岸まで散歩に出た人、渚を走った人、ぎりぎりまで寝ていた人、朝食は皆軽めであった、何故なら丸1日飛行

機の中で3食摂ってほとんど体を動かしていない、体重オーバーが心配なのだ。昨年の「アブダビ」は登録・計量に6時間30分ばかり予定された市内観光等が中止になった。果たしてスペイン・マラガはどうなるのか？案の定日本の国内大会に比べ事務処理能力と、自己のペースを崩さない担当者、但しアブダビと違うのは順番待ちの待機室が確保されていたこと、同一建物内に柔道場がありトレーニングができたこと、日本人21名の一括手続きが認められたことなどがあり、3時間30分で全員がパスした。予測よりは早かったが、マラガ市内観光「ピカソ美術館」「ヒブラルファロ城」の見学は延期となり、全員で昼食を摂ろうということになり地中海に面したレストランに入った。こ

こでの昼食は計量パスの解放感もあつて海鮮料理も、ビールも、ワインも最高に美味しかった。

●9月25日大会第一日目(M6、M11、女子)

大会は3日間行われるが、日本マスターズ柔道協会のツアーで出場する選手は全員M6(55〜59歳)以上なのでこの日が試合日となる。勇躍会場に乗りこむ、メイン会場には6試合場が敷き設され、控えのサブ道場では各国の

選手が入り乱れて準備アップしていた。毎年同じ光景だが、この興奮状態を楽しんでいるのかもれない。各試合場の対戦出場順位をTVモニターで確認、試合会場への出入りはコンピレーションカードの提示が必要で遅刻は欠場となる。マネージャー役が不在なので各個人が責任を持つ。

### ●反則負け3人

北京オリンピック柔道競技、金メダル連覇がかかった鈴木桂治選手が一回戦で無名のモンゴルの選手にタックルで一本負けした。その後IJF(国際柔道連盟)ルール改正で「帯から下に直接手を使う、攻撃・防御は反則」となった。IJFに日本の理事が一人もいない現状も相まって、実は同じ体重でも小兵の日本人得意の肩車、小内巻き込み(捨て身小内)、掬い投げ等が封じられてしまったのだ。

今大会M7(60〜64歳)81kg以下に出場した山田次光八段(アブダビ大会金メダル)返しを狙って股の間に手を入れた、が直ぐに気付いて抜いたがジュリーを入れた競技の結果反則負け、M9(70〜74歳)60kg以下出場の鬼柳一字七

段は準決勝戦、小内巻き込みで審判は一本を宣したのに副審のアピール、協議の結果反則負けとなった。昨年のアブダビ大会は決勝敗退銀メダル、雪辱を期して臨んだM973kg以下Bプール決勝の相手はドイツ選手簡単に勝てると思つて臨んだが力が強い、柔道着の合間からボディビルダーのような盛り上がった胸が見えた。有利に組もうと組み手を嫌つていると私に指導がきた、相手の強引な払い腰を返したが腹這いに倒れて有効にならず、その後二度目の指導が来て優勢負け、Bプール2位で決勝トーナメントに進むが、Aプール位とクロスの対戦、相手は昨年優勝の内藤純七段、一瞬の隙を突かれ合わせ技一本負け、その内藤選手を決勝で破つて優勝したのは、去年アブダビで簡単に勝つたリト

ニアの選手だった。ウェイトトレーニングをしっかりとやって力負けない身体づくりからやり直し、来年こそ優勝を目指します。

### ●観光客世界3位

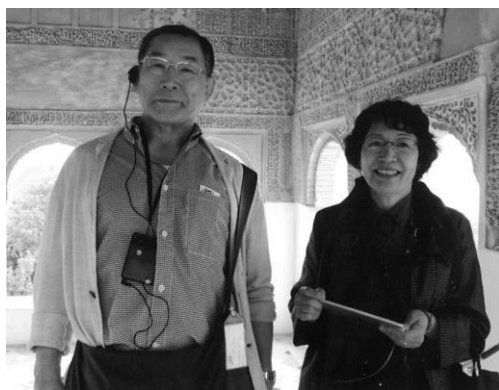
年間の観光客数世界一はアメリカだそうで意外な感じがしたが、ハワイを含め広い国土に色々な観光地があるのとことで納得。第二位はフランスのパリなんといつても女性人気は圧倒的。そして第

三位がスペインだそうです。この2〜3年で爆発的に増えている。●泥棒天国

拘り、かつばらい、置きびき、何でもござれ、警察に届けても100パーセント戻ることはないという。「被害にあうのは、あなたの不注意からだ」血が流れない限り警察の本格的対応は期待できないとのこと。くれぐれも用心のほど。

# スペイン紀行

(東京都)清水陸子



スペイン旅行ではとても楽しい時を過ごすことが出来ました。スペインには一度行つた事が有り今回如何しようかと迷いましたが主人の耳の具合も心配でしたので同行する事にしました。

マラガ、ミハス、ロンダ、アンダルシア、バルセロナと何処も素晴らしく行つて良かったです。特にロンダの素晴らしい景観。道具もそれ程無い時代に旧市街地と新市街地を結ぶあの凄いの谷の場所に橋を良く作つたものだと感じしました。バルセロナのガウディの建物はどれを見ても素晴らしく、特にサクラダファミリア教会の内部がほぼ出来上がり、ステンドグラスの素晴らしさに感動してしまいました。完成は後3年〜5年掛かるそうですが、是非見て見たいものです。今回も皆様にとっても仲良くして頂き思い出に残るたびとなりました。

## マラガでの柔道大会での応援

(千葉県)清家 初枝



マラガに行きました。ここはどこ？ 私はどこにいるの？ 何しに来たの？ それが問題じゃ。はい、柔道大会の応援です。吾が君様、青色道着デビュー。まあ、なかなかお似合いです。でも、ネ。

私は、白色道着が好き。試合が始まりました。ドキドキ、心臓の音が・・・肩に力が入ります。4戦全勝、お見事！ 優勝！金メダル！

異国の地で「君が代」、声高らかに・・・、残念、途中でブツン、切れました。美しき「日の丸」を仰ぎ、感動。オ・メ・デ・ト・ウ、そして、ア・リ・ガ・ト・ウ。

日々の稽古・鍛練が実を結びましたね(第二道場でのお稽古も)。これからも柔の道を進んでください、応援します。応援してください皆様、ありがとうございます。感謝！

私の「オリガミ外交」、もちろん沢山の方々と笑顔・アイコンタクトで。言葉は通じないけれど、ハートでしっかりと握手しました。

では、また、柔道場で・・・

## 2014年日本ベテランズ国際柔道大会

### (第11回日本マスターズ柔道大会)

#### 個人戦結果

##### (形競技の部)

##### 投の形

1位	取	藤城靖博	千葉
	受	醍醐恵二	千葉
2位	取	内田みゆき	愛知
	受	竹澤毅朗	愛知
3位	取	中村行成	神奈川
	受	大山幸作	神奈川

##### 個の形

1位	取	芦田和典	大阪
	受	入江浩正	大阪
2位	取	中平義仁	長野
	受	原和男	長野
3位	取	養和田功	栃木
	受	古峯弘道	栃木

##### 極の形

1位	取	平野多俊	三重
	受	小林茂夫	三重
2位	取	池田剛士	埼玉
	受	遠藤憲昭	埼玉
3位	取	金藤宏行	香川
	受	溝渕充	香川

##### 柔の形

1位	取	岩田美喜	愛知
	受	内田みゆき	愛知
2位	取	小鳥川和美	岐阜
	受	藤本由香	岐阜
3位	取	武内睦子	愛知
	受	中村洋子	愛知

##### 講道館護身術

1位	取	武井弘美	長野
	受	矢崎宏明	長野
2位	取	清田良英	長崎
	受	川上寛之	長崎
3位	取	内藤純	栃木
	受	植木良夫	栃木

##### 五の形

1位	取	毛利修	埼玉
	受	清家春夫	千葉
2位	取	法兼真	茨城
	受	桐生習作	茨城
3位	取	大木恒毅	東京都
	受	阿部雅人	東京都

##### 古式の形

1位	取	菅波盛雄	千葉
	受	水野博介	愛知
2位	取	清家春夫	千葉
	受	役田英穂	埼玉
3位	取	鈴木常夫	神奈川
	受	三橋英夫	神奈川

##### M1 60 kg級 【年齢別体重別個人戦の部】

M2 60 kg級	1位 小松裕樹 静岡	1位 川野英二 愛媛	1位 池内郁暢 東京都	2位 平田和義 大阪	1位 阿部雅人 東京
	2位 牛丸幸貴 東京都	2位 林健太郎 長野	2位 上茂裕也 大阪	3位 井上省司 千葉	2位 平松 慶 神奈川
M1 66 kg級	3位 原田靖成 埼玉	3位 谷川 礼 埼玉	3位 笠間 真 山形	3位 清田雄大 愛知	3位 栗原則充 山形
	3位 後藤雄二 山形				3位 緒方正憲 福岡
3位 八木帆高 三重	1位 花田早樹 千葉	M3 60 kg級	1位 清成周作 東京都	1位 末吉貴彦 鹿児島	M4 100 kg級
	2位 小川拓也 東京都	1位 中山直秀 長崎	2位 西 剛史 石川	2位 中谷善和 滋賀	1位 片山幸昌 兵庫
3位 ブーフェイ テュウ マレーシア	3位 山崎吉矢 神奈川	M2 66 kg級	M3 66 kg級		2位 ビイタリー アリレイ・ ニュージールランド
	2位 塚本勇洋 石川	1位 根本勇作 千葉	1位 南保徳双 東京都	M4 60 kg級	3位 小坂重人 秋田
3位 八山泰光 群馬	3位 中村 航 静岡	M2 73 kg級	2位 西尾真治 埼玉	1位 吉田静樹 千葉	3位 高宮和弘 山形
	2位 山崎吉矢 神奈川	1位 田中秀昌 神奈川	3位 北村岳伸 香川	2位 安井重臣 石川	
M1 81 kg級	3位 高井健介 東京都	3位 山本洋史 高知	M3 73 kg級	3位 今嶋録郎 大阪	M4 100 kg超級
	2位 木島大樹 東京都	3位 菊地 晃 岩手	1位 尾原弘恭 大阪	1位 岡村忠彦 東京都	1位 桧山尚浩 福岡
M1 90 kg級	1位 森東 平 東京都	M2 81 kg級	2位 中島和彦 大阪	2位 三浦武彦 東京都	2位 難波英一郎 福井
	2位 伊郷良典 静岡	1位 田中博幸 石川	3位 酒井暁生 東京都	3位 山岸和重 新潟	3位 中川弘治 京都
3位 桐生習作 茨城	3位 小林正弘 群馬	2位 佐藤大彦 神奈川	3位 伊藤雅晴 千葉	3位 秋山直樹 福島	M5 60 kg級
	3位 高岡浩平 石川	3位 高野 誠 茨城			1位 小玉 勉 兵庫
M1 100 kg級	1位 菊地嘉幸 神奈川	M2 90 kg級	M3 81 kg級	M4 73 kg級	2位 森田義行 神奈川
	2位 八山清継 群馬	1位 菊地嘉幸 神奈川	1位 津久井佑隆 東京都	1位 土屋 靖 和歌山	3位 村山富樫 高知
1位 矢根和紀 兵庫	3位 濱中健二 滋賀	2位 八山清継 群馬	2位 中川 隆 大阪	2位 林 栄 東京都	M5 66 kg級
	3位 秋田芳和 静岡	3位 秋田芳和 静岡	3位 伊藤真也 秋田	3位 酒井博昭 北海道	1位 平野健太郎 千葉
2位 ホンイー ユーン マレーシア			3位 間 章 高知	3位 宝田 建 東京都	2位 清水英治 奈良
					3位 喜田康之 兵庫
M1 100 kg超級	1位 原井利昌 東京都	M2 100 kg級	M3 90 kg級	M4 81 kg級	3位 伊藤仁彦 愛知
	2位 富木軌和 東京都	1位 高橋朋也 千葉	1位 上蘭義明 大阪	1位 釘宮 尚 千葉	
2位 曾輪泰弘 埼玉		2位 曾輪泰弘 埼玉	2位 桂 剛 大阪	2位 松本英治 岡山	M5 73 kg級
			3位 菅野隆行 岩手	3位 桑原喜一郎 埼玉	1位 上田一美 愛知
M2 60 kg級			3位 川村林太 鳥取	3位 伊藤大介 山形	2位 久家 浩 埼玉
					3位 南 睦志 滋賀
M2 100 kg超級			1位 額額明久 東京都		3位 北條博嗣 高知

イギリス	M5 81 kg級 1位 赤尾信行 山口 2位 国吉真登茂 神奈川 3位 小西康夫 富山 3位 藤田彰二 静岡	M5 90 kg級 1位 森本正則 滋賀 2位 小口伸夫 東京 3位 小峰義次 埼玉 3位 藤巻文雄 静岡	M5 100 kg級 1位 高橋敏哉 青森 2位 対馬勝美 青森 3位 佐藤弘昭 東京 3位 小池雅彦 埼玉	M5 100 kg超級 1位 レクエレ アントン フランス 2位 ダニエル インデック オーストラリア	M6 60 kg級 1位 北尾 浩 兵庫 2位 ダニエル インデック オーストラリア	M6 66 kg級 1位 大内基樹 北海道 2位 梶 泰章 神奈川 3位 菅井 賢 茨城 3位 小久保隆 愛知	M6 73 kg級 1位 スティープ シュケール
	2位 本橋政義 東京 3位 赤司正友 東京 3位 飯塚博史 鳥取	M6 81 kg級 1位 佐藤英則 東京 2位 長谷川正仁 神奈川 3位 藤井孝文 神奈川 3位 伊藤民雄 岐阜	M6 90 kg級 1位 佐藤克広 北海道 2位 佐々木政彦 埼玉 3位 青沼 武 茨城 3位 大内克易 福岡	M6 100 kg級 1位 アラン グリーン ニュージーランド 2位 児島恭司 岐阜 3位 富田安志 福岡	M7 60 kg級 1位 橋本和佳 千葉 2位 ミロスラ マトセック チェコ 3位 八坂楠夫 千葉	M7 66 kg級 1位 阿部 守 神奈川 2位 神 正之 神奈川 3位 原 優 東京都 3位 田中 茂 東京都	M7 73 kg級
	1位 伊福義雄 宮崎 2位 木原一郎 東京都 3位 紀野修二 大阪 3位 栃本 章 神奈川	M7 81 kg級 1位 バルダン ジャン・ミッシェル 東京都 2位 太田明男 神奈川 3位 平野相徳 和歌山 3位 阿古裕弘 奈良	M7 90 kg級 1位 大塚俊彦 埼玉 2位 神園修一 東京都	M7 100 kg級 1位 フランコスキ クリストフ オーストラリア 2位 久保雅昭 東京都	M7 100 kg超級 M8と統合 1位 上野清吾 熊本	M8 60 kg級 1位 植田茂美 香川 2位 大矢八平 兵庫 3位 大谷光三郎 東京	M8 66 kg級 1位 柿田豊一 石川 2位 坂東雅邦 千葉 3位 佐々木安廣 岩手 3位 井田幹夫 神奈川
	M8 73 kg級 1位 羽生利彦 東京都 2位 久宮登美夫 栃木 3位 宮脇政美 香川 3位 北島吉郎 埼玉	M8 81 kg級 1位 吉成隆杜 東京都 2位 山田次光 大分	M8 90 kg級 M9と統合 1位 渡部信綱 埼玉 2位 大漣光好 宮崎 3位 吉永豊貴 大阪	M9 60 kg級 1位 清水 周 東京都 2位 相田盛良 長崎	M9 66 kg級 1位 大窪龍史郎 埼玉 2位 小西正弘 千葉	M9 73 kg級 1位 内藤 純 栃木 2位 内藤光伸 神奈川 3位 五十嵐徳英 千葉 3位 西尾勝彦 奈良	M9 81 kg級 1位 三橋英夫 神奈川 2位 彦素久仁雄 滋賀 3位 清家春夫 千葉
	3位 池田正男 兵庫	M10 60 kg級 M11と統合 1位 永島健次郎 千葉 2位 岡田庫二郎 兵庫	M10 66 kg級 1位 山本健夫 東京都 2位 石川厚二 東京都 3位 福盛田立明 神奈川 3位 小森勝男 東京都	M10 73 kg級 1位 久保田友治 東京都 2位 若月良夫 新潟 3位 鈴木泰國 東京都 3位 佐藤勝志 東京都	M10 81 kg級 M11と統合 1位 飯屋 悟 兵庫 2位 森本唯行 神奈川	M11 66 kg級 1位 高橋勘十 岩手	M11 73 kg級 M12と統合 1位 中井司郎 奈良 2位 竹安晃照 東京都 3位 太田尚充 青森 3位 美濃岡清三郎 兵庫
							M11 81 kg級 M11と統合 100 kg級



2位 関水友基枝 神奈川	1位 鹿俣由美 山形	F4   5 70 kg F4   78 kg	1位 岩田美喜 愛知	F4   63 kg	1位 山中智規 香川	1位 田畑美和 宮崎	1位 稲垣富美子 和歌山	F4   57 kg F5   52 kg	2位 ソリドールマーヤ 東京都	1位 齊藤恵美 愛知	F2   3 70 kg F2   78 kg	2位 林 いずみ 千葉	1位 西森 沙恵 兵庫	F2   48 kg級 F2   52 kg級	1位 野村紗矢香 和歌山	F1   78 kg級 F2   78 kg級	2位 竹中直子 鳥取	1位 諫山千絵 愛知	F1   2 63 kg級	2位 後藤智栄美 山形	1位 宇都宮奈美 福岡	F1   2 57 kg級	1位 奈良 澄 愛知
--------------	------------	-------------------------	------------	------------	------------	------------	--------------	-----------------------	-----------------	------------	-------------------------	-------------	-------------	-------------------------	--------------	-------------------------	------------	------------	---------------	-------------	-------------	---------------	------------

2014年日本ベテランズ国際柔道大会(第11回日本マスターズ柔道大会) 団体戦結果

2014 Japan Veterans International Judo Championships / Team Results

男子団体戦 Male			女子団体戦 Female		
丸の内柔道倶楽部A 東京 Marunouchi A Tokyo	1	1-3	練心会 混成 Renshin-kai Mixed	1	1-2
神奈川県教員クラブ 神奈川 Kanagawa Teachers Kanagawa	2	3-1	まわたの会A 愛知 Mawata-no-kai A Aichi	2	2-1
東京ガス・大阪ガス 混成 Tokyo・Osaka GAS Mixed	3	2-2代	きいちゃん倶楽部 和歌山 Kiichan Club Wakayama	3	0-3
伊豆長岡柔道会 静岡 Izunagaoka Judo-kai Shizuoka	4	1-1内	4 鹿児島 鹿児島 Kagoshima Kagoshima	4	優勝
浦安市柔道協会 千葉 Urayasu Judo Assoc. Chiba	5	3-0	5 まわたの会B 愛知 Mawata-no-kai B Aichi	5	3位
直感柔道倶楽部 東京 Intuitive Judo Club Tokyo	6	0-5	6 日独 東京 Nichi-Doku Tokyo	6	3位
同志社WRJC 神奈川 Doshisha WRJC Kanagawa	7	3-0			
昭徳館C 栃木 Shotokukan C Tochigi	8	1代-1			
元気ひむか 宮崎 Genki Himuka Miyazaki	9	0-3			
チームHKT2014 混成 Team HKT 2014 Mixed	10	1-1内			
中野区柔道会B 東京 Nakano-ku Judo-kai B Tokyo	11	0-3			
近紀会 混成 Kinki-kai Mixed	12	5-0			
横浜六浦柔道倶楽部 神奈川 Mitsuura Judo Club Kanagawa	13	2-3			
中央区柔道会 東京 Chuo-ku Judo-kai Tokyo	14	4-1			
大木塾 虎隊 東京 Oki-Juku (Tiger) Tokyo	15	2-1			
柔錬会B 兵庫 Juren-kai B Hyogo	16	2代-2			
A G E O 埼玉 AGEO Saitama	17	2-0			
札幌柔道連盟 北海道 Sapporo Judo Assoc. Hokkaido	18	3-2			
八尾柔道協会 大阪 Yao Judo-kai Osaka	19				
柔錬会A 兵庫 Juren-kai A Hyogo	20	1-2			
中野区柔道会A 東京 Nakano-ku Judo-kai A Tokyo	21	2-1			
本郷柔道倶楽部 東京 Hongo Judo Club Tokyo	22	1-2			
土曜柔道会 神奈川 Doyo Judo-kai Kanagawa	23	1-2			
エネルギーチーム 混成 Nenergy Team Mixed	24	1-3			
東京都庁 東京 Tokyo Tocho Tokyo	25	1-2			
東京武道館柔友会 東京 Tokyo Budokan Tokyo	26	2-1			
大木塾 熊隊 東京 Oki-Juku (Bear) Tokyo	27	2代-2			
昭徳館B 栃木 Shotokukan B Tochigi	28	0-3			
がんばれ福島II 神奈川 Come on! Fukushima Kanagawa	29	2-2代			
東京柔道B A K A 東京 Tokyo Judo Baka Tokyo	30	2-2代			
中野区柔道会C 東京 Nakano-ku Judo-kai C Tokyo	31	0-2			
紀尾井町柔道倶楽部 東京 Kioicho Judo Club Tokyo	32	0-5			
チーム・トライ 関西混成 Team Try Mixed	33	2-2内			
昭徳館A 栃木 Shotokukan A Tochigi	34	1内-1			
丸の内柔道倶楽部B 東京 Marunouchi B Tokyo	35	4-1			
N Z J U D O K O N G NZL NZ Judo Kong NZL	36	3-2			
練馬柔道倶楽部 東京 Nerima Judo Club Tokyo	37	3-2			
坂出市柔道協会 香川 Sakaide Judo Assoc. Kagawa	38				

日本マスターズ功労賞受賞者

(80歳以上)

第11回大会に参加して

兵庫県 美濃岡 清三郎



毎年4月28日、講道館で全国高  
段者柔道大会が開催され、この  
大道場で11回出場。お世話に相  
成り、想い出の道場で日本マスタ  
ーズ柔道大会に出場させて頂き、  
私は90歳になりました。

長寿の進展に従い、生涯スポー  
ツの必要性として現役の柔道を  
楽しみ、健康と長寿を共に喜び、  
今なお、益々の希望と活力に満  
ちた流れを創ってくれる素晴ら  
しい柔道の道を今後も前進ある  
のみです。

後輩ながら、役員の先生方、本  
当にお世話に相なり有難うござ

います。厚く御礼申し上げます。

自分の「マスターズ柔道」

青森県 太田 尚充



自分は現在週2回、弘前市にあ  
る青森県武道館で、少年柔道  
(小学生)を指導するような格好  
で、柔道着を着用して参加して  
います。老齢の自分にとって、元  
気な少年達の柔道をみるのは、  
この上ない楽しみです。実は少年達  
から元気を少しばかり分けて頂  
いているようなものです。若い指  
導者達は、それなりに工夫した  
稽古法で進めているので、自分は  
脇の方にて、少しでも良くなる  
ように応援しているわけです。応  
援の仕方は、叱るときもあるが、  
専ら「褒め役」になる事です。や  
りにくい動作の中でも、その少年  
に少しでも良い所があれば、すか

さず褒めて、今のところを忘れな  
いで頑張りなさいと励ますので  
す。これで自分も楽しくなるか  
ら不思議です。

以上のような柔道との取り組  
み方が現在の自分にとっての「マ  
スターズ柔道なのです」

「生涯柔道を目指して」

岩手県 高橋 勘十



柔道と本格的に取り組んだのは、  
昭和26年岩手大学に入学して  
からです。兄の援助、大日本育  
英会奨学金、アルバイトで賄う  
寮生活を送っていました。第一  
回東北学生柔道大会開催の報  
を受け、一念発起、文武両道を  
標榜し大会出場、以降毎年何か  
しらの大会に出場し今に至って  
おります。本年は全国高段者柔  
道大会40回出場、日本マスタ  
ーズ柔道大会11回出場となりま

す。この間多くの方々のご支援、  
ご指導を賜りましたが、別格は  
岩手県柔道連盟理事長、会長  
を歴任された藤原 勇先生、中  
央講道館の十段小谷澄之先生  
です。小谷先生は久慈国体が決  
定し、その進捗状況視察に来県  
された以降です。東北大学教授  
をしていた兄の富雄が雑誌「武道」  
に連載していたこともプラスにな  
って、兄に習いなさいと「文武不  
岐」、「力必達」の揮毫、著書、  
「柔道一路」を頂戴いたしました。  
わが柔道の拠り所です。かくて  
今日があるのです。

「私の柔道歴」

奈良県 中井 司朗



私1934年8月13日生(79歳)  
戦後中学一年生の時、初めて柔  
道に出会い、大阪の町道場、金  
海道場(和田アキ子の実父、館  
長)に入門し、その後ニュージャ  
パン柔道協会(現大阪講道館)に入  
門、山本 博先生、西岡 弘先  
生の指導を受けました。その後  
就職、結婚し、好きな柔道がで  
きなくなり、26歳の時一度リタ  
イアし、47歳で又柔道を再開し  
ました。体力が少しずつ戻り、近  
くの野村基次先生豊徳館、野  
村道場の道場で稽古させて頂い  
ております。天理大学の藤井省  
太先生から声を掛けて頂き、天  
理大学女子柔道部の皆様と毎  
年海外遠征、春、夏の香川県合  
宿他、約10年間程行動を共に  
させて頂きました。日本マスタ  
ーズ柔道大会に、兵庫県の中村  
古先生に誘って頂き、団体戦に  
出させて頂きました。  
マスターズ柔道大会に参加して  
素晴らしい大会である事に感  
激・感動し、今まで以上に身を  
入れて稽古に励むようになりました。小生の柔道、振り返れば  
実績、技術、体力乏しく、過去  
柔道をやめようと思ったことも  
ありましたが、今ではやめなくて  
良かったと、マスターズ柔道協会  
役員、関係者の先生方に感謝し  
今後体の続く限り生涯現役を

目標に頑張りますので宜しくご指導下さいませ。現在週に2、3回、車で奈良から大阪の八尾柔道教室(紀野修二先生・近畿大学OB)の道場で多くの子供達、若者達と稽古をさせて貰っています。多くの皆様に支えられ、好きな柔道を続けられることに心より感謝いたしております。

# 出場のきっかけ

愛知県 奈良 澄



私が日本マスターズ柔道大会に出場したきっかけは、2003年、第5回世界マスターズ柔道大会が講道館で開催されると聞き、ためらわず申し込みをしたのが

きっかけです。現役から離れ試合ができるか不安であったが、65歳、69歳のM8のカテゴリーで出場し、外人さんとの試合で、銀メダルを頂きました。その時のメダル・プレゼンターは山下泰裕先生であった。首にメダルをかけて頂き握手をして頂き、「生涯柔道を」と言われたことがまだ耳の奥に残っている。

握手をして頂いた時、大きくて暖かく柔らかい手、今もあの時のことが思い出されます、確か2、3日手を洗わなかったように思う。

2004年、第1回日本マスターズ柔道大会が浜北で開催され出場、金メダルを頂き、あれから埼玉、姫路、岡山、秋田、長岡、大分、千葉、山口と出場し、それなりの成績を残したが、多くの先生方の元気なのは驚きであり、仲良くして頂いたのには感謝し、生涯柔道を続けていくことを目標に、日頃の摂生を怠らず、今後とも元気に参加したいと思っています。子供たちを指導しているが、柔道が魅力あるスポーツになるよう、私達も努力しなくてはと思う。傘寿に入ったが気持ちには還暦のつもりで、子供たちを指導したいと思っています。今年には佐賀県です！元気に参加できれば幸いです。

## マスターズ大会

### 10回出場表彰 受賞者

#### 「マスターズ大会出場・十回表彰と実績」

茨城県 杉原 尚



このたび、第11回大会会場におきまして、栄えある十回出場表彰を受けましたことは、誠に光栄に存じます。有難うございました。

柔道は勝ち負けでない「精力善用」にあり、先ず自分あり、相手あり、社会あり、「自他共栄」である。柔道は、過去から現在、未来へとつながっていきたい。いのち感謝、マスターズ柔道万歳！

## 「実績」

- 2004年 第1回静岡大会「試合の部」賞外「形の部」固・賞外
- 2005年 第2回埼玉大会「試合の部」銀「形の部」固・賞外
- 2006年 第3回岡山大会「試合の部」金「形の部」固・賞外
- 2007年 第4回兵庫大会「試合の部」金「形の部」固・賞外
- 2008年 第5回秋田大会「試合の部」銅「形の部」固・銅 柔・賞外 五・銅
- 2009年 第6回大分大会「試合の部」銀「形の部」投・賞外 固・金 五・銅
- 2010年 第7回新潟大会「試合の部」銅「形の部」固・賞外 柔・賞外 五・銅
- 2011年 第8回千葉大会「試合の部」金「形の部」固・銅 柔・賞外 極・賞外
- 2012年 第9回山口大会「試合の部」金「形の部」固・賞外 柔・銅 極・賞外
- 2013年 第10回東京大会「試合の部」銀「形の部」固・賞外 柔・賞外
- \*まとめ
- 「試合の部」 9個(金・4 銀・3 銅・2)
- 「形の部」 8個(金・2 銅・6)

## 第11回目になる日本マスターズ柔道大会に参加して

兵庫県 大矢 八平



私は、このマスターズ大会が始まった第1回より連続して出場しています。

11回目にして初対戦の人に敗退しました。このマスターズ大会に向けて、1年間練習を積み重ねて挑んだ試合だったので、大変悔しい思いをしました。

練習を怠ってもいけませんし、あまり頑張りすぎてはいけません。体に支障をきたすと、仕事にも差し支えます。

効率の良い稽古の仕方や、より効果を出す方法などを考えても出来る事ではないので、

やはり稽古するしかないのです。年齢とともに衰えていく体力をいかに現状維持するかなかなか難しい問題です。

そんな中、私よりも年上の先生

方が日々稽古をし、参加されておられるので、その先生方が今の私の目標です。

今年、ありがたい事に、選手宣誓をさせていただきました。私みたいな者が代表で、宣誓をするなど、夢にも思っていないでした。

とても良い経験をさせてもらったと思います。選手宣誓をさせてもらったおかげで、20数年来会っていないかった友人が、声をかけてくれました。久しぶりに会えて嬉しかったです。

私は、中学生の時から半世紀、柔道の稽古をしてきました。体力が続く限り、日本マスターズ柔道大会に出場し続けたいと思います。そのためにも、日々の稽古を欠かせません。

これからは、対戦相手との戦いもありますが、自分自身の体力との戦いでもあります。

このマスターズ大会は、毎年開催地が違いますが、それも楽しみの一つになっています。

来年は、九州の嬉野で開催されるので、それに向け練習を開始しております。

# 「生涯柔道・まわた」

愛知県 加古 若子



長い柔道人生、11年前に、マスターズが立ち上がり、仲間と喜び合いました。この11年は「一年が「あー」と言う間に過ぎて、一年の計画を立てるのにいろいろ大変だった思い出が一杯です。11年間開催地での再会も楽しみの一つです。毎年お馴染みの顔に再会を喜び合うひとコマが、あちらこちらで見られ、アットホームな温かいマスターズ大会に、若い人にも無理なく参加を勧めることができます。私達は20人の、20歳から70歳までの、「全知多まわたの会」を結成、来年で10年になります。10年これもマスターズ大会のお陰で続けてこれました。女性だけの会員で、家庭、仕事、子育ての中、「全知多柔道会」の協力に感謝しながら生涯柔道を目指し、マスターズ大会を楽しみ、

人生の思い出を多く作り、地域社会の役に立つような会を盛り立ててゆく会員で頑張っています。今年の日本マスターズ大会に臨む計画を着々と進めています。

## 日本マスターズ柔道大会

との出会い

兵庫県 山本 昭



私が仕事の都合で柔道を暫く休止していましたが、道場の忘年会で私の尊敬する大矢八平先生が京都市で開催される西日本（現近畿）高段者大会に出場しませんかと誘いを受け、酒の勢いもあり出場の決意をしました。が、数年のブランクはどうしようもなく残り30秒でこのまま引分けるより、一か八か渾身の内股を掛けましたがきれいに返されての一本負け。苦いデビュー戦の2年前の事です。それからその

悔しさを内に秘めて、週2回仕事の傍ら2時間の稽古と現役の時にやっていた朝トレ（5時起床）25kgのバーベルをベンチプレスで1000回を日課に現在も続けておりますが、12年前に第一回日本マスターズ柔道大会が静岡で開催され、大矢八平先生と出場、高段者大会（1試合）では味わえない勝ち抜き戦の心地よい緊張感の中ではありませんでした。

第1回から10回迄の戦績は、優勝5回・準優勝4回・3位1回ですが、残念な事に昨年は仕事の都合で11回大会を欠場し連続出場記録もストップ致しましたが、今年の嬉野（佐賀県）大会は、万全を排して出場する所在です。また何より全国の先生方とお会い出来る事を楽しみに今日も稽古に励んでおります。

## 日本マスターズ柔道大会

10回出場表彰で思うこと

東京都 吉成隆杜

第11回日本マスターズ柔道大会において、10回出場表彰を受けることができました。

静岡県浜北市での第1回目から

欠かさず出場し、今では年間スケジュールを立てる時の最優先事項になりました。



毎回出場しての感想は、「私だけでなく、日本にはこれだけ大勢の柔道に取り憑かれた人がいる」ということを一番実感できる場が、日本マスターズ柔道大会であるということです。トーナメントという試合形式からくる日常生活では感じる事のない独特の緊張感と、多くの柔道仲間に関わった時に感じる空気は特別です。全国高段者大会や他の高段者大会では感じる事ができないものです。決して美男美女が揃っているわけではなく、一般人から見ると、ごつい体つきをして、耳は餃子のように崩れて、歩き方も格好良くはないものの、一つのことを愛し、愛し続けている人たちが集まっている様は、私にとっても素敵なものに思えます。

を続けてくることができた幸運を考えるにつけ、柔道を創始し広めた嘉納治五郎師範という人物の偉大さを感じずにはいられません。

数年前にJR上野駅近くにある講道館発祥の地、永昌寺を訪ねたことがあります。決して大きくはない寺の境内の道場跡地に碑が立っており、講道館開設の年の門下生の数は、確か8名だったと記してありました。若干22歳で道場を作り、しかも初心者ばかり8名の門下生で始めた道場を、数年で門下生1000人を越えるまでもつていく苦労は、柔道の指導を経験した者なら理解できる筈です。環境が全て揃っている状態から始めても、人を集めるだけでも大変な努力が必要なのに、初歩から指導をし、その中から次ぎの指導者を育成し、更には海外まで普及させる、という壮大な夢を持ち、それを実現した訳ですから、奇跡と言っても言い過ぎではない業績です。現在IJFには200近い国が加盟し、オリンピックの公式競技の中でも最も多くの国が参加している種目の一つであり、日本発祥の唯一のオリンピック競技が柔道ですから、嘉納師範の業績を称える上でありきたりの言葉を使うことが憚れます。同時に、それを支えた

我々日本人柔道家の果たした役割は、大いに誇ってよいことではないでしょうか。

しかし、柔道が誕生してから130年以上が経ちました。この間の世の中の変わりようは、人類が過去に経験したことのないスピードです。嘉納師範が、欧州に旅した時には一ヶ月以上を要したものが、今では12時間です。講道館開設当時のエネルギーの中心は、薪だったものが今では電気です。明かりも蠟燭やランプからLEDになり、通信手段は手紙しかなかったものが、今ではEメールです。

柔道にも、もつと変化と進歩があつてしかるべきです。それを怠ったつげが、柔道人口の減少、学校の柔道部の廃部という現象に表れているのではないのでしょうか。昔の講道館には人が溢れていました。しかし今では稽古相手を見つけるのに苦労する日も多々あります。こうした現象に対し、打つ手はないのでしょうか。

フランスの柔道人口60万人に対し、日本の柔道人口20万人と言われています。日本の柔道がブラジルに渡り、ブラジリアン柔術と呼ばれるようになり、そ

のブラジリアン柔術がアメリカに渡つてから僅か20年ですが、アメリカのブラジリアン柔術道場数が3000以上にに対し、柔道場数は300です。フランスの人口6000万人に対し、日本の人口は1億2000万人、ブラジリアン柔術は地味な寝業しかなく、柔道には寝業もあれば派手な立ち技があるにも関わらずです。

最近の柔道に於ける変化は、国際ルール、青色柔道着、畳の色、トレーニング方法、試合に於けるポイント制度、新しい投げ技や固め技、女子柔道、世界マスターズ柔道等々、殆どが海外からもたらされ、日本発のオリジナリティのあるがありません。

その原因は、柔道が世界的なスポーツ、そしてオリンピック公式競技となったことから、国からの補助金も降り、全柔連を筆頭に日本全国に強固な組織ができ、守るべきものができたが故ではないのでしょうか。

ビジネスの世界では、変わらないうことがリスクと言われます。柔道も更なる変化と進歩を求めない限り将来はありません。その風を、日本から起こそうではありませんか。それが我々日本人柔道家全員の責任と考えます。

# 「マスターズ柔道について」

東京都 原 優



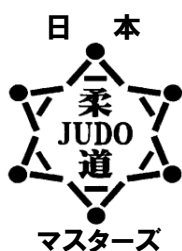
私が丸の内柔道クラブの会員になったのは1995年1月5日に米国から帰任してからすぐです。から、会員として20年経過しました。

米国カリフォルニア州ナパ郡に在住時、安い料金でプレーできるゴルフにのめり込んでいたが、ゴルフだけでは運動不足の様で、66〜70kgの体重が90kgを超える状態となりました。減量について考えていたところ、町の中に私営のスポーツセンターのマーシャルアーツ部門の一つとして柔道クラブがあり、柔道を再開しました。東洋大学に全米チャンピオンとして留学していたハワードフィッシュ、サンノゼ大学師範のマイクスエイン、ロサンゼルスオリンピック時の米国代表者等との乱取りや飲み会等、楽しい思い出が一杯です。

柔道は左で、若い時に右肩脱臼、右足首関節脱臼、右腓骨骨折、右足首靱帯3本断絶等の大怪我をしました。が、原因は無理な技の入り方であつたと思っています。今は還暦を過ぎ、全国高段者大会(連続11回出場)及びその他の公式戦及び日本マスターズ柔道大会(連続11回出場)等、参戦出来る試合は全て参戦していますが、無理な技の入り方はしていません。

マスターズ柔道は同年代、同体重(私の場合はM7、-66kg)の参戦ですので毎年この体重を維持する為に健康にも大きい効果があると思います。又この大会は私の柔道同窓会と位置付けています。

柔道はその人独特の形があると思いますが、私の場合は未熟の為、まだ確立しておりません。今後とも諸先生のご指導を宜しくお願いします。





「私の近況」

静岡県 一言力



今回この会報に投稿させて頂く事となり大変嬉しく又、感謝致します。投稿に関し私の近況、話題と言うより「柔道技の説明・研究」についてのテーマと致しました。

私なりの「説明・研究」とは、柔道の指導とは趣が異なり柔道の練習中の身近な人との技の確認等少し軽い感じの事と致しました。最近では技の確認を尋ねられた時はプライドや経験等己に関する事は無視無心(ドヤ顔に成る時も少し有り)で、相手が上手く成ること一点に集中し、気軽に、機会や時間を見つけて自信を持つて私が今持っている技の中で最善や最良の技を研究の意味合いで説明をしています。少し理屈があわなくても長く柔道を続けたならば自ずとその受けた本人が修正されるものと思いま

す。

私がこれまでに培ってきた得意技を他の人に説明する事はその後の試合の対戦相手と成り得る場合も有り不利で、事実その様なことも有りました。(・・・まーなんとかなるさ笑・笑)

但し、そこから技を改良する楽しみが残りその後克服したならば同じ技名で多くの引き出しが出来、一段と柔道が面白く成るのです。その為には日々、多くの努力が必要となりますが、余談では有りますが、

今日のスポーツ柔道と先の戦後間もない頃とは柔道の持つ役割が異なる思いが有り技の進化、指導方法等燃り多くの勉強が必要なのではと思われます。

其の上で、柔道が今日まで多くの支持を得ているのも緒先輩方の御尽力と御苦労有つての事と思います。有難うございます。

「全ての先生方に感謝、

そして柔道に感謝」

岐阜県 倉野 祐一

私のマスターズ柔道との出会いは、岐阜県東濃地区柔道協会の六段牧田幹男先生から勧められた



ことがきっかけとなり、静岡県浜北市で開催された第1回大会に参加が叶いました。昨年の二回大会において10回出場表彰を受けることができました。いろいろと思いがありますが、何回か表彰台上に上がる事も出来ましたが悔しい初戦敗退も経験しました。中でも、一昨年に講道館で開催された第10回記念大会では、家族全員が応援に来てくれたこともあり、運よく決勝まで進むこともでき想い出深い大会になりました。

ここで忘れることが出来ないのは、私の柔道人生の分岐点になった恩師のことです。思えば、高校から柔道を始めた私が現在でも好きで続けられる理由、そうなたたきつけは、柔道整復師である中津川接骨院の院長、七段三並良雄先生との出会いです。ちようどあの頃は、就職して交替勤務をしていましたので、生活リズムが不規則で練習もムラがあ

りました。練習をしたいときは、夜勤前でも参加してから勤務に就く事も度々でした。今この話を子供たちにすると、一言「考えられない」といいますが、三並先生をはじめ集う仲間のおかげで、今では楽しかった思い出です。

現在は、微力ではありますが子供供たちにも指導を続けている日々ですが、柔道の普及に少しでも貢献できれば幸せであり、私自身も「マスターズ出場最年長記録」を目指して現役人生に挑戦したいと思っています。振り返ってみれば総てが「ご縁」であり、このことに感謝して「末永く柔道を楽しもう」と改めて思うこの頃です。切っ掛けを作って頂いた先生方、マスターズ柔道に係わる総ての先生方に紙面をお借りして感謝申し上げます。

10回表彰を頂きました。

平井 敏雄 兵庫県 理事

第一回大会は静岡で開催され、リーグ戦2試合ともGSで泣きながら戦った。大会2週間前に骨折し、『絶対出ないと、いけないんですか?』と医者に聞かれた時も出場した第2回埼玉大会。



第4回は地元の姫路大会、お世話になった県連盟の方々の前で情けない試合をすることはマスターズの皆さんに恥をかかすことと胆に銘じて臨んだ。初の優勝となった。事など、思い出す。今大会では、11年前の第5回世界東京大会で銀メダルのステイプと再会した。日本語が解らない彼のセコンドに付きサポートした。彼は優勝し『必ず好きな日本に戻ってきます。練習を継続して頑張りましょう。』と話していた。

年代区分があがると少しは楽になると思っていた。甘かった、上がる程厳しい。レベルが高くなってくる。進化した者だけが残ってくるからだ。諦めるとそのレベルで衰える。向上心を持って努力すれば何歳になっても変われる事をマスターズが教えてくれた。

大会の楽しみは試合以上に大先輩とお会いできることだと思ふ。今回も野口名誉会長をはじ

め沢山の先生方とお話できた。団体戦の後で『頑張ってるな』と声をかけて下さった大矢秀昭先生。嬉しかったです。次回の大会で又、皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。ありがとうございます。

## マスターズ大会は生涯柔道を

開眼させて頂いた恩人です！

滋賀県 森本正則



私は滋賀の片桐先生(常任理事)に勧めをいただき、第11回大会にエントリーし今大会まで連続エントリーをし、この度は10回出場の際に表彰を頂きました。また、今大会では個人戦M5の90kg級優勝と、団体戦「近畿会」の一員として出場し優勝することとでき、金メダル2個も頂くことが出来、俗に言う「盆と正月が一緒にきた！」ような嬉しい限り

りの大会となりました。私は中学から柔道を始め高校でも柔道部に入りましたが、全中・インターハイ・国体などの全国大会への出場経験はなく、高校卒業と同時に地元役場に就職し地元の道場で子供の指導を行いつつ柔道を続けてきました。青年団時代に全国青年大会に出場した経験はありましたが、誰でも出場できる年齢毎に競うマスターズ柔道大会の開催を聞き、減量のチャンス！旅行も出来る！ためでもともと腕試し！との思いで出場を重ね、生涯柔道を開眼させて頂いた恩人です。マスターズ柔道人生はまだ始まったばかり、継続は力なり、日々研鑽を重ねてこれから出場を続けてまいります。

## 11回連続出場をして思うこと

愛知県 知多市柔道会  
窪田 智之

愛知県の知多半島にある知多市で、少年柔道の指導しながら、本大会に連続11回出場しています。現在49歳、柔道歴40年になりました、現在は地元の少年柔



道指導者として日々小学生相手に受身の稽古に励んでいます。大会には連続11回出場、中学時代の恩師安田哲雄先生が講道館で行われた、世界マスターズ大会に出場した話を聞き、第1回大会のお誘いを受けたのが参加のきっかけです。

また、先生の講話集「草魂」は大会の参加賞として配られました。「草魂」の表紙に私と安田先生が描かれています。

柔道を初めて40年、この年でまだ試合に参加している自分がいる事が不思議です。同世代の指導者への参加を促していますが、「弱いからいいよ」「怪我するから」と断れますが、柔道まず「受身」を習う事で、負けることを一番初めに習うから、初心に帰って、一緒に参加を促しています。生涯柔道を目指して、2015年度も大会へ参加致します。五代はまだまだ若造ですが、生涯

現役を目指して日々、受身の練習に精進を致します。来年度の佐賀県嬉野市の大会は、観光も含めて楽しみにしています。最後に大会を企画・運営している協会の方々には深く感謝すると同時に、今後も本大会を継続して開催して頂けます様、心からお願い申し上げます。

## 「柔道バカ」と呼ばれて

宮城県 佐藤 政美



「パパ、本当に柔道バカね。」時折、家族が呆れながら私に投げかける最高の褒め言葉です。兄達を追って5歳で柔道を始め三十数年。人生の約9割も柔道をしていることになりました。現在は小中学生に柔道を教えながら、年に一度のマスターズ大会に向けて体を鍛え、充実した日々を過ごしております。年を重ねるにつれ色々支障が出てきますが、「腰が痛いときは、打ち込み

を。足が怠いと感じれば、足払いの反復を。痛いのは怠けていたからだ。稽古すれば治る」といつも以上に稽古をし、すっきりして(体はヘトヘトになり)家路に着きます。そんな時家族は「パパ、本当に柔道バカね。」と褒めてくれます。周りの方は理解してくれませんが、敬愛するマスターズ会員の皆様には理解していただけないのでしょうか。

そんな私ですが、今年の第11回日本マスターズ大会において「10回出場表彰」をいただくことができました。30歳から連続10回出場。これは最年少で且つ最多出場になるそうです。「妻の実家があるので顔を出しながら参加しようか」と気軽に臨んだ第1回の静岡大会を皮切りに、今年の講道館まで「ただ試合がしたくて。全国のマスターズ仲間会に会いたくて。」それだけで続けてきたことが、形となり光栄に感じております。これも偏に「柔道バカ」に呆れながらも許し、ついてきてくれる家族のおかげと感謝しております。

そして、体力が続く限り連続出場を続け、「公式戦全国47都道府県制覇」と、「50回出場表彰」と途方もない夢をいだし、宮城の柔道バカは今日も稽古に励んでいます。

「生涯学習」

前専務理事

千葉県 伊藤 久雄



私はマスターズ柔道大会に、一昨年から参加していない。理由はIJFビゼール会長の商業路線にどうしても納得できないからだ。私が柔道を始めたのは大学に入学してからだ。四年間、故柴山謙治先生に、公私ともに柔道と人間学の薫陶を受けた。競技を通して負ける悔しさ、人前で恥をかく惨めさ、理屈よりも先ず行動してみても活路が見えること、健全な身体があつてこそ他人を思いやる心が育まれること、寛大さが強い男の条件であり、男は強いものに立ち向かい、弱い者には思いやりの心を持つこと、男は「優しさ」と「逞しさ」を兼備すべく自己研鑽し、年相応の心・技・体の向上に生涯学習すること等恩師からは多くを学んだ。柔道

を継続することにより、素晴らしい仲間と出会い、自分自身の人間力のレベルを自覚できる。国籍、思想に関係なく初対面でも旧知の友人の様に交流できる。人は成長したい、もつとまなな人間になりたいと生涯学習するものだが、私は柔道を生涯学習の一つとして、自分なりに精進していききたいと思う。

【トピックス】

6th IJF WORLD JUDO  
VETERANS CHAMPIONSHIP  
MALAGA 2014  
September, 24  
栗本忠弘8段  
M10, -90kg級

金メダル(対戦:フランス人に2勝)



栗本副会長 世界ベテランズ大会での活躍が  
日本マスターズ柔道協会ホームページに掲載されています

斎院志津子さんが茅ヶ崎市教育委員会より表彰されました

日本マスターズ柔道協会ホームページより

平成26年11月4日に茅ヶ崎市教育委員会の式典が市庁舎で行われ、前年度の活躍した選手の日本マスターズ柔道協会の斎院志津子氏(第2回アジアグランド・マスターズ柔道大会(講道館)、F71-52kg級の優勝)内藤光伸氏(第5回世界ベテラン柔道大会(アラブ首長国連邦アブダビ市)、M91-66kg級の優勝)の地域貢献と成績優秀が称えられ



表彰状と記念品が贈呈されました。

2015年日本ベテランズ国際柔道大会(第12回日本マスターズ柔道大会)第1回打合せ会議(全日本柔道連盟)

日本マスターズ柔道協会  
ホームページより

来年、9月19日(土)〜20日(日)の両日に佐賀県嬉野市体育館で開催される、標記大会の第1回打合せ会議が、10月31日(金)午後、講道館新館会議室で嬉野市、全柔連、当協会の関係者の20名の出席の下に開

催された。

第9回の山口県周南市大会以来の3年ぶりの、日本有数の温泉地での、地方開催となり、また9月の大型連休と重なるため、大会運営の見地から従来の初日の個人戦と二日目の団体戦・形競技の開催が差し替えられ、個人戦前日の計量が9月19日(土)午後になった。

嬉野市は、全日本女子代表選手の強化合宿を2011年より毎年受れており、その関連のさらなる強力な誘致活動によってこの度、嬉野市において国際柔道大会の開催が決定したものである。

大会要項の詳細は、今後の会議を経て今年度中に発表される予定である。



ときつ

# みんなのスポーツ



## 成果を出し続ける努力 柔道家 稲田盛良さん

すき た もりよし

9月20,21日、講道館（東京都）で行われた「2014年日本ベテランズ国際柔道大会（第11回日本マスターズ柔道大会）」に出場した稲田盛良さん（左底郷）が、M9-60kg級（70～74歳、60kg以下）で銀メダルを獲得しました。日本マスターズ柔道協会からは、連続11回出場記念の金メダルも授与されました。

稲田さんは10歳から柔道を始め、今なお現役選手としてトレーニングに励んでいます。本町コスモス会館では、老若男女問わず無料で指導も行っています。

夢は「時津町からオリンピック柔道金メダリスト」頑張ってください。



稲田盛良さんが 長崎県時津市の  
広報誌「ときつ」で取り上げられました

ブータン柔道協会から当協会宛に

会報が送付されてまいりました

ブータン柔道協会

会報送付のご案内

拝啓 時下益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

此のたび、2010年より始めましたブータンの柔道プログラムにつきまして、日本の皆様にも広く知っていただくため、誠に勝手ながら今年創刊した会報を送付させて頂きます。現在の有段者を有する当協会は今年、国際協力機構（JICA）より青年海外協力隊のヘッドコーチを迎え、メンバー達は益々日々の練習に打ち込んでおります。来年は協会初の国際試合となる南アジアカデ（18歳以下）大会へのデビューを予定しており、再来年、2016年3月には関東と関西の大会参加を目標に、日本遠征を計画しております。一人でも多くの皆様に私どものプログラムを知っていただき、ご支援の輪が広がるようご協力いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

私どものプログラムにつきましてご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

敬具

ブータン柔道協会事務局

電話：+975-1756

0312（日本語可）

メール [bhutan.judo@gmail.com](mailto:bhutan.judo@gmail.com)

フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/BhutanJudoAssociation>

[an.JudoAssociation](http://www.facebook.com/BhutanJudoAssociation)



岡田庫二郎さんが

兵庫県豊岡市の健康増進施設「ウエルストーク豊岡」の会報にて取り上げられました

わが町のすごい人(会員)

「ウエルストーク豊岡」

岡田庫二郎(80歳)

柔道八段

ウエルストークは日々多くの方にご利用頂いておりますが、その中にすごい人がいらつしやるとの情報が入り取材をさせて頂きました。

\*プロフィール

1934年生まれ 血液型O型  
島根県石見銀山近くの海岸沿いの町出身

\*特技 柔道八段

\*柔道を始めたきっかけ 19歳の時、大阪で刑務官として就職。受刑者を更生させる為始めた。30歳の時豊岡拘置所勤務になる。その頃から豊岡高校・農業高校・豊岡南高校で週1〜2回非常勤講師として柔道の指導を行うようになった。現在も継続中。\*印象に残っている大会 東京オリンピックの予選大会で東京

へ行ったこと。平成25年第5回JFベテラン国際柔道大会(アブダビ)で特別功労賞を受賞したと。

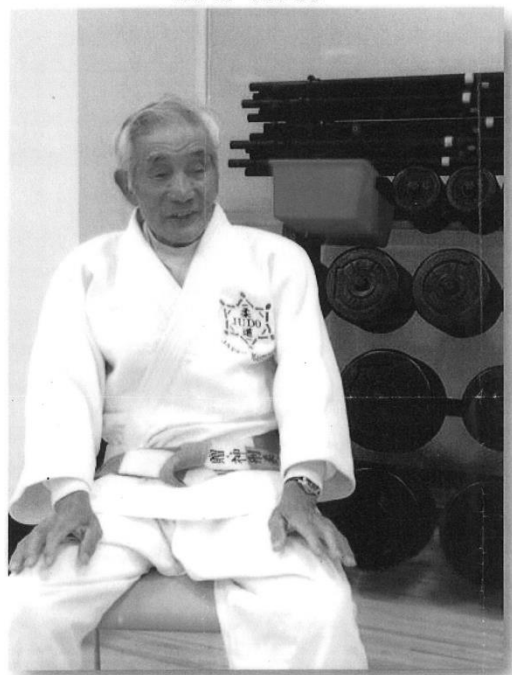
\*健康の秘訣は 働く事 働くとは、はた(周囲の人達)をらく(楽)にする事。人と話をする事。好き嫌いをせず何でも食べるのと。

\*好きな言葉 継続は力なり 自他共栄

\*来年の目標 国際ベテラン大会(9月頃) 第12回日本マスターズ柔道大会(佐賀県・嬉野)

我が町のすごい人(会員)

岡田 庫二郎(80歳)  
おかだ くらじろう



◆編集後記◆

平成26年、第11回 日本マスターズ柔道大会は2014年日本ベテランズ国際柔道大会として、主催：国際柔道連盟、主管：公益財団法人 全日本柔道連盟協力：日本マスターズ柔道協会・公益財団法人 東京都柔道連盟後援：厚生労働省・文部科学省・外務省・公益財団法人 日本武道館 会場：講道館に於いて、平成26年9月20日(土)・21日(日)海外からの参加者27名を含む692名の参加者により盛大に行われた。前年度(25年)の海外からの参加者64名を含む744名に比し、52名の減少は25日・27日、スペイン・マラガで開催されたJF主催第6回ベテラン国際柔道大会の影響が多分にあったと思われる。何故なら、日本マスターズ柔道協会は1日後の9月23日には応援団を含む21人のツアーを組んでスペイン・マラガに向かった。地中海を隔てたスペインにはヨーロッパ勢1250名(内日本選手21人)が来ていた。個人参加者を除く日本マスターズ会員は9月24日に計量をパスし、9月25日、M6(55歳〜59歳)・M11(80歳〜84歳)各カテゴリーに参戦、金―3個 銀―3個 銅―3個と健闘した。さて、日

本マスターズ柔道大会の目玉となりつつある、団体戦、30歳代から70歳代を代表した、先鋒・次鋒・中堅・副将・大将の5人、女子は先鋒・中堅・大将の3人がチームの看板を背負って、男子38チーム、女子6チームが激突した。

男子は「神奈川教員クラブ」の連覇を阻んだ「近紀会」が、女子は鹿児島が栄冠を手にした。日本マスターズ柔道協会生みの親である野口宏水名誉会長に特別功労賞が、80歳以上で第11回大会に出場された10人の大先輩にマスターズ功労賞が贈られたが今年は90歳を超える方が出場されるのを楽しみにしています。

第1回〜第10回大会出場者表彰を受けた最年少40歳、最年長83歳の28名は、日本マスターズ協会の宝であるとともに柔道会の、日本の宝でありましょう。さて、来年の大会は2年間お世話になった講道館を離れ、佐賀県嬉野市にお世話になります。毎年女子強化選手の合宿地でもある嬉野にどうか沢山の女子会員、マスターズファミリー、が集まって盛り上げていただけるよう祈念しております。



Photo Gallery

フォトギャラリー



2014 年日本ベテランズ国際柔道大会



開会式前



功労賞授与



選手宣誓 大矢八平選手：兵庫



熱戦開始



熱戦の一コマ



団体戦表彰式



懇親会挨拶 全柔連 宇野事務局長



歓談



日本舞踊

第6回IJFベテラン国際柔道大会



出場登録



スペイン・マラガビーチ①



スペイン・マラガビーチ②



アップ風景



試合風景



闘牛場にて